

「新エネ大賞」応募申請書【導入事例の部】(記入例：バイオマス熱利用)

申請者(企業名等)	
導入事例の名称	「工場バイオマス廃棄物熱利用システム」

項目	概要	備考
導入事例の特徴 (PRポイント)	<p>本システムは、 県の策定した「地球温暖化防止プロジェクト」の一環として、バイオマス廃棄物熱利用設備を導入し、ボイラー燃料使用量、二酸化炭素及び廃棄物排出量の削減を目指したものである。</p> <p>新工場建設にあたり、工場の製造工程から排出される木粉を集積してボイラーに自動供給を行い、ボイラー(木粉依存率100%)で発生した蒸気を、吸収式冷凍機または熱交換器を介して工場及び事務所の冷暖房に利用するシステムを設計・導入した。</p>	別添： 設備概要参照
導入の先進性/独創性	<p><u>自動回収・供給システム</u> 木粉の分別回収率を高めた自動回収・供給システムを導入することにより、工場各工程から排出される木粉の分別回収率が %向上し、これによりボイラーの100%木粉依存が可能となり、バイオマス資源の有効活用を行なっている。</p> <p><u>大規模工場での導入</u> 床面積 、 m²の大規模工場での導入ということで先駆的である。</p>	
啓発効果	<p><u>PR活動など</u> 工場見学を広く受け入れ、廃棄物を効率的に利用するという環境への取組みを広く紹介しており、官庁、地元企業、地域社会の環境への意識の高まりが期待できる。また、 県作成の「地球温暖化防止プロジェクト」のパンフレットにも、本システムが紹介されている。</p> <p>見学者： 人/年、 見学会： 回/年(平成 年度)</p>	
経済性	<p><u>全体事業費</u> 総事業費：約 . 億円</p> <p><u>採算性</u> 本設備により削減できる燃料費は年間 万円であり、償却年数は 年間。</p>	
運転実績	<p><u>導入年月日</u> 焼却開始：平成 年 月 日</p> <p><u>設備利用率</u> 設備利用率：約 %</p> <p><u>エネルギー発生量</u> エネルギー発生量： 、 GJ/年</p> <p><u>主な不具合発生状況</u> 当初、初期故障などで設備利用率が低下していたが、最近は特に故障・不具合等は発生していない。</p>	別添： 運転実績参照
その他	<p>本システムは、平成 年度NEDO「 事業」の補助金を交付された。</p>	